

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：20-259

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名：RECQL1 発現と卵巣癌臨床病理学的因子との関連
- ・ 目的：RECQL1が上皮性卵巣癌患者に対する新規の予後予測因子や治療ターゲットとなりうるか検討する。
- ・ 研究期間：当院臨床研究IRB承認日～2022年 12月 31日
- ・ 研究対象：2010年 1月 1日～ 2020年 12月 31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

- ・ 当院で手術、化学療法を受けた上皮性卵巣癌症例の手術摘出組織（RECQL1蛋白発現を免疫組織化学染色法により解析）。
- ・ 当院で手術、化学療法を受けた上皮性卵巣癌症例の臨床病理学的因子（年齢、既往歴、併存症、家族歴、組織型、組織分化度、臨床進行期、化学療法奏効率、化学療法有害事象、臨床検査所見、画像検査所見、無増悪生存期間、全生存期間）。

③ 利用する者の範囲

： 埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科 吉田裕之

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科 吉田裕之